

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブリックコメントの実施
 b) アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()

※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

いいえ → e) 実施する予定になっている
 f) 計画中である
 ◎ 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()

問10. へお進み下さい

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
 b) 普通
 c) 良い評価を得られなかった

問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？
 ◎ はい

時期	媒体名 (TV 番組名、雑誌名)	放映日、刊号等
平成22年12月	地方自治職員研修	2010.12月号
年 月	北海道新聞 (2010.9.10朝刊、7.3朝刊等)	

b) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

- ◎ はい
 b) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- ◎ はい
 b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であ

ると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施されている
 b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべて民間事業者実施している

◎ いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率ほどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車	割引率 (〇割引引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
第2種 障害	単独で乗車	大人				
		小児				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？
 ◎ 自由に答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	北海道釧路市 社会参加促進事業(身体障がい者スポーツ振興)	
施策の目標	スポーツ・レクリエーション活動等を行うことにより、障がい者の社会参加を促進する。	
構成事業名	① 釧路湿原全国車いすマラソン大会	
	2 釧路市身体障がい者スポーツ大会	

事業の開始年度	昭和 61 年度 (事業終了予定年度 年度)
事業の目標	障がい者の日常生活活動を支援すると共に、スポーツを通じてノーマライゼーション理念の普及拡大を図る
事業化に至る経緯(関与した人物などできるだけ詳しく)	(釧路湿原全国車いすマラソン大会) 国際障害者年の後、障がい者に対する社会参加がクローズアップされるようになり、釧路市としてまだ行われていなかった車いすマラソンを行うことにより、障がい者スポーツの拡大を図り障がい者の自立促進を促すこととなった。
これまでの取り組み	事業化に至った要因は何であると考察しましたか?

事業の成果指標名	① 大会参加者	②
選択理由	① 障がい者 社会参加活動数	②
算定の方法	① 大会参加者数	②

区分	単位	指標・事業費の推移						
		19年度		20年度		22年度		
成果指標①	計画		119	計画	実績	計画	実績	目標値
	達成率	%			98		112	
成果指標②	計画							
	達成率	%						
事業費(合計)	円		1,723,234		1,921,667		2,076,518	
	円		775,000		932,000		1,034,000	
内 国庫 分								

訳らの支出金					
その他	円	387,000	466,000	517,000	
一般財源	円	561,234	523,667	525,518	

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必要性	④) 高 b) 中 c) 低	障がい者の自立促進、社会参加の為に今後も継続がする。
目標の達成状況	a) 順調 c) 普通	全国から参加者が集まるので、その時の交通状況によって変動がある
成果の向上の余地	⑤) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	平成 23 年度より実施主体が社会福祉協議会に移行するた め、ボランティア等柔軟な対応が可能となる
今後の方向性について(事業の計画の計画等)		平成 23 年度より実施主体が変更となるが、当面は今ままで同様と考えられる

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか?
 当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ⑥) ホームページ ⑦) 広報紙 ⑧) チラシの印刷 d) テレビ ⑨) 新聞
 ⑩) ラジオ
 g) イベントの開催 h) その他 ()

問 7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) パブリックコメントの実施
 b) アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている
 f) 計画中である
 g) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--	--

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

◎ はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
平成22年 8月	FMくしろ	
年 月		

◎ いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- ◎ はい
- ◎ いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい
- ◎ いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

問14. へお進みください

◎ いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の乗車の形態	年齢	利用する距離の	割引の対象と	割引率 (○)	備考

等級	単独で乗車	制限(〇〇km等)	なる乗車船券	割引引き
第1種 障害	小児			
	大人			
第2種 障害	介護者と共に			
	単独で乗車			
第2種 障害	介護者と共に			
	小児			
	大人			

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

昨今言われている無縁社会に象徴するように、人間関係の希薄化、地域・家族間の関係性の変化に伴い、国や地方公共団体が様々な障がい者施策を実施しているなかで障がい者が地域で住みやすい社会になっているかと考えると疑問を持たざるを得ない。まず、社会が健全であること、そして、社会を構成する地域住民が健全であることが前提である。その前提のうえで、障がい者に対する理解の促進が重要であると考える。

施策名 (通称等あれば)	北海道北斗市		
施策の目標			
構成事業名	1	心身障害者扶養共済掛金助成事業	

事業の開始年度	昭和47年度	事業終了予定年度	年度)
事業の目標			
事業化に至る経緯 (関与した人物などで きるだけ詳しく)	事業化に至った要因は何であると考察しましたか？		
これまでの 取り組み			

事業の成果 指標名	①	②
選択理由	①	②
算定の方法	①	②

区分	単位	指標・事業費の推移			22年度 目標値			
		19年度	20年度	21年度				
成果指標①								
達成率	%							
成果指標②								
達成率	%							
事業費(合計)	円	3,794,000	2,915,880	4,972,000	3,739,860	4,654,000	3,375,600	3,650,000
内 国庫からの 支出金	円							
その他	円							
一般財源	円	3,794,000	2,915,880	4,972,000	3,739,860	4,654,000	3,375,600	3,650,000

事業の評価	※○をつけて下さい	説明
関与の必要性	a) 高 b) 中 c) 低	
目標の達成状況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	
今後の方向性について(事業の計画等)		

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか？
当ではまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ ⑥) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) アンケートの実施 → 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他 ()

※当ではまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている → 問10. へお進み下さい
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
b) 普通
c) 良い評価を得られなかった

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

--

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

◎) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

◎) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

◎) はい

- a) 運行をはじめずべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- ◎) 民間事業者が主体となって運行し事業者に補助金等を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金等を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

→ 問 14. へお進みください

b) いいえ → 問 15. へお進みください

問 14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇)	備考
第 1 種 障害	単独で乗車	小児		船券		
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第 2 種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問 15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	北海道ニセコ町 社会福祉扶助	
施策の目標	障害者に対し各種扶助を行い、生活の安定を図ることを目的とする	
構成事業名	① 重度障害者タクシー料金扶助事業 2 ニセコ駅前温泉「綺羅乃湯」入館料扶助 3 在宅支援住宅改修費助成事業	

事業の開始 年度	平成9年度(事業終了予定年度 — 年度)	
事業の目標	身体に障害をもつ者が、社会参加等の活動をより容易にできるようにするため、タクシーを利用する場合の費用を扶助し、もって重度障害者福祉の増進を図ることを目的とする。	
事業化に至る経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	ニセコ町は過疎地域であり生活路線バス等も頻繁に通っていないことから、障害者の移動が不便な状態であった。そこで、障害者個人へタクシーチケットを交付し日常生活等の利便を図った。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？	
これまでの 取組み	一人当たりタクシーチケット利用可能金額を10,000円から、平成22年度は30,000円とした。	

事業の成果 指標名	②	
選択理由	②	
算定の方法	①1枚400円のチケットを1人75枚交付 ②	

区分	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①	枚	900	638	900	650	900	700	900	2,700
達成率	%		70.9		72.2		77.8		
成果指標②									
達成率	%								
事業費(合計)	円	360,000	255,200	360,000	260,000	360,000	280,000	360,000	1,080,000

内訳	円	円	円	円	円	円	円	円	円
国庫からの 支出金									
その他									
一般財源	円	360,000	255,200	360,000	260,000	360,000	280,000	360,000	1,080,000

事業の評価		説明
関与の必 要性	④) 高 b) 中 c) 低	障害者の足の確保として必要である。
目標の達 成状況	④) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	概ね順調である。
成果の向 上の余地	a) 大幅な向上が可能 ④) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	予算の範囲内において利用向上が可能である。
今後の方 向性につ いて(事業 の計画等)	必要に応じた利用額の増額について検討する。	

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当てはまるものすべてを○を選んで○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 ④) その他 (個人あて通知)

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) アプリコメントの実施 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
d) その他 ()
※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている 問10. へお進み下さい
f) 計画中である
④) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
- b) 普通
- c) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

時期	媒体名 (TV番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年		
月		

◎) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- a) はい
- ◎) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響（問い合わせ等）はありましたか？

- a) はい
- b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- a) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者実施している

◎) いいえ → 問15. へお進みください

問14. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児		船券		
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第2種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

d) その他 ()

① いえ → e) 実施する予定になっている

f) 計画中である

②) 現時点で実施する予定はない

h) その他 ()

③) いいえ → 問15. へお進みください

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

a) 良い評価を得られた

b) 普通

c) 良い評価を得られなかった

問9. へお進み下さい

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思えますか？

Blank box for answer to Question 9.

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

③) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
平成22年 5月	読売新聞 (青森版)	5月8日
年 月		

b) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

a) はい

③) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

a) はい

③) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

a) はい → a) 運行をはじめずすべての業務を自治体で実施している

b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している

c) 民間事業者が主体となって運行し事業者が補助金を支出している

問14. へお進みください

d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している

e) すべて民間事業者実施している

③) いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇割引引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
第2種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	青森県階上町 普及啓発事業
施策の目標	各事業で目標設定をしている。
構成事業名	① こどもの自立支援のための支援者学習会 2 精神障害者家族学習会 3 こころの健康教室、健康診断

事業の開始 年度	平成 19 年度 (事業終了予定年度 23 年度)
事業の目標	知的発達障害に対する支援方法の普及を図る。保健福祉医療サービスの理解を深め関係機関が連携できる。
事業化に至る経緯 (関与した人物などで きるだけ詳しく)	平成 18 年障害者計画および障害福祉計画の策定。その際、家族から意見を聴取。障害への対応方法が分からない、家族が集まり、悩み等を相談したいという意見が出された。 平成 20 年～行政と家族学習会発起人として、役割分担し実施している。行政は知識の普及啓発と支援者、対象者への情報提供、家族学習会発起人会、学習会の運営、ピアカウンセリング。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？ 家族側からの必要性。行政側の障害への早期支援の必要性。
これまでの 取り組み	行政 年 1 回 支援者及び家族学習会の開催。 随時 個別相談、家族学習会の情報提供、会役員への支援。 家族学習会 1 回/2 カ月 開催。

事業の成果 指標名	②
選取理由	②
算定の方法	②

区分	単位	指標・事業費の推移			
		年度 計画	年度 実績	年度 計画	年度 実績
成果指標①					
					22 年度 計画
					22 年度 実績
					目標値

達成率	%
成果指標②	
達成率	%
事業費 (合計)	円
内 国庫から 訳の支出金	円
その他	円
一般財源	円

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必 要性	a) 高 ⑤) 中 c) 低	
目標の達 成状況	a) 順調 ⑤) 普通 c) 順調ではない	
成果の向 上の余地	a) 大幅な向上が可能 ⑤) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	
今後の方 向性につ いて(事業 の計画等)	事業評価と障害に対する情報提供。	

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当てはまるものすべてを○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 ⑥) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

- 問7. その事業について、地域住民の評価を受けましたことがありますか？
- はい → a) パブリック・ポインツの実施
 ◎ アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()
- 問8. へお進みください
 ※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)
- いいえ → e) 実施する予定になっている
 f) 計画中である
 g) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()
- 問9. へお進み下さい
- 問10. へお進み下さい
- 問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？
- 問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率 (〇)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児	町内	船券	無料	
		大人				
第2種 障害	介護者と共に	小児			無料	
		大人	町内			
	単独で乗車	小児	町内		無料	
		大人				
介護者と共に	小児			無料		
	大人	町内				

- 問7. その事業について、地域住民の評価を受けましたことがありますか？
- はい → a) パブリック・ポインツの実施
 ◎ アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()
- 問8. へお進みください
 ※当てはまるものすべてに○をつけてください (複数回答)
- いいえ → e) 実施する予定になっている
 f) 計画中である
 g) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()
- 問9. へお進み下さい
- 問10. へお進み下さい
- 問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？
- はい → a) 良い評価を得られた
 ◎ 普通
 c) 良い評価を得られなかった
- 問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？
- はい → a) はい
 b) いいえ
- 問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？
 改善すべき点があるため。

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
平成 年 月		

◎) いいえ

- 問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？
- a) はい
 ◎) いいえ
- 問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？
- a) はい
 b) いいえ
- 問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

施業名 (通称等あれば)	岩手県釜石市 地域で安心して生活できる支援体制づくり
施策の目標	障がい者が住み慣れた地域で健康で安心して生活できるよう、保健・医療や生活支援の充実を図る
構成事業名	① 福祉タクシー利用料給付事業

事業の開始 年度	平成22年度(事業終了予定年度 年度)
事業の目標	障害者の社会参加の促進を図る
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	自宅に閉じこもりがちな重度の障害者の社会参加を支援するため 事業化に至った要因は何であると考察しましたか?
これまでの 取り組み	市内のタクシー会社との協力のもと継続して実施してきた

事業の成果 指標名	① タクシー助成券	②
選択理由	①	②
算定の方法	①	②

区分	単 位	19年度		20年度		21年度		22年度	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
成果指標①	枚	780	414	720	432	480	409	480	480
達成率	%		53.01		60.00		85.20		
成果指標②									
達成率	%								
事業費(合計)	円								
内 国庫から	円								
訳の支出金	円								
その他	円								
一般財源	円	452,400	240,120	417,600	250,560	278,400	237,220	278,400	278,400

指標・事業費の推移

事業の評価	※○をつけて下さい	説明
関与の必要性	◎) 高 b) 中 c) 低	
目標の達成状況	a) 順調 ◎) 普通 c) 順調ではない	
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ◎) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない 継続して実施	
今後の方 向性につ いて(事業 の計画等)		

問6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか?
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ◎) ホームページ ◎) 広報紙 ◎) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか?

- はい → a) ハブ/リリック・コメントの実施 → 問8. へお進みください
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
◎) その他 (関係団体の総会)

※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)

- いいえ → e) 実施する予定になっている → 問10. へお進み下さい
f) 計画中である
g) 現時点で実施する予定はない
h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか?

- a) 良い評価を得られた → 問9. へお進み下さい
b) 普通
◎) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

平成17年度から交付対象者を縮小したため。

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
年 月		

㊹) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

㊹) はい

b) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響(問い合わせ等)はありましたか？

a) はい

b) いいえ

問13. 地域に奉らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

a) はい →

- a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
- b) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
- c) 民間事業者が主体となって運行し、事業者が補助金を支出している
- d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
- e) すべて民間事業者が実施している

㊹) いいえ → 問15. へお進みください

問14. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km 等)	割引の対象となる乗車	割引率 (〇割引)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児		船券		
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				
第2種 障害	単独で乗車	小児				
		大人				
	介護者と共に	小児				
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	岩手県栗石町 精神保健福祉普及事業
施策の目標	精神障害者が地域で安心して暮らせる。
構成事業名	1 精神障害者生活訓練教室 (精神障害者デイケアたんぼほの会) 2 精神障害者家族会活動 (精神障害者家族会しずくの会) 3 精神保健ボランティア活動 (一休さん)

事業の開始 年度	平成 14 年度 (事業終了予定年度 年度)
事業の目標	精神障害者やその家族の活動を支援するとともに精神保健について理解を深める。
事業化に至る経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	平成 12 年度に盛岡保健所主催による精神保健ボランティア講座を開催、精神保健ボランティアうぐいすの会が結成され、精神障害者生活訓練教室の支援などの活動をしていくうちに独自に独自で精神障害者の居場所や交流の機会を多くしていこうと一休さんを開始する。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？
これまでの 取り組み	町デイケアの支援。 憩いの場「一休さん」開設。 研修会や大会の参加。 交流会、温泉会。 いきいき福祉まつりの参加。

事業の成果 指標名	②
選択理由	②
算定の方法	②

指標・事業費の推移						
区分	単位	年度		年度		22 年度 目標値
		計画	実績	計画	実績	
成果指標①						
達成率	%					
成果指標②						
達成率	%					
事業費 (合計)	円					
内 国庫から	円					
訳 の支出金	円					
その他	円					
一般財源	円					

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の 必要性	a) 高 b) 中 c) 低	
目標の 達成状 況	a) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	
成果の 向上の 余地	a) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	
今後の 方向性 について (事業 の計画 等)	現在の活動の継続。 精神保健ボランティア養成講座の実施。	

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか？

当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- a) ホームページ ㊸) 広報誌 ㊹) チャリンの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
㊺) イベントの開催 h) その他 ()

問7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブリックコメントの実施
 b) アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()

- 問14. へお進みください
 ⑩) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
 ⑪) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し、事業者が補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべて民間事業者が実施している
 いいえ → 問15. へお進みください

- いいえ → e) 実施する予定になっている
 f) 計画中である
 ⑫) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()

問8. 上の問7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた
 b) 普通
 c) 良い評価を得られなかった

問9. その事業が地域住民から問8. のような評価を受けたのは何が要因だと思いますか？

問10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？

- a) はい

時期	媒体名 (TV 番組名、雑誌名)	放映日、刊号等
平成 年 月		

- ⑬) いいえ

問11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありますか？

- ⑭) はい
 b) いいえ

問12. 上の問10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- a) はい
 b) いいえ

問13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であ

ると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ⑮) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している
 ⑯) 運行は自治体であるが業者に委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し、事業者が補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべて民間事業者が実施している
 いいえ → 問15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限 (〇〇km等)	割引の対象となる乗車船券	割引率 (〇割引引き)	備考
第1種 障害	単独で乗車	小児	無	無	無	無
		大人	無	無	無	無
	介護者と共に	小児	無	無	無	無
		大人	無	無	無	無
第2種 障害	単独で乗車	小児	無	無	無	無
		大人	無	無	無	無
	介護者と共に	小児	無	無	無	無
		大人	無	無	無	無

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

施策名 (通称等あれば)	山形県長井市 障がい児通学支援事業
施策の目標	障がい児が能力に応じた適切な教育を受けることにより、障がい児の自立および社会適応の促進を図るため、養護学校に在籍する障がい児（以下「児童」という。）との通学について予算の範囲内で移送の支援を行う事業（対象者は米沢養護学校に在学する生徒）
構成事業名	1

事業の開始年度	平成 19 年度（事業終了予定年度 年度）
事業の目標	障がい児が能力に応じた適切な教育を受けることにより、障がい児の自立および社会適応の促進を図るため、養護学校に在籍する障がい児（以下「児童」という。）の通学について予算の範囲内で移送の支援を行う事業（対象者は米沢養護学校に在学する生徒）
事業化に至る経緯 (関与した人物などできるだけ詳しく)	市内に県立の知的障害児入所施設があり、併設して入所児童のための養護学校分校が開設されましたが、在宅の知的障がい児を受け入れたいため在宅知的障がい児は片道 1 時間をかけて送迎をしていたため市内に養護学校開設の要望はかなり以前からあったが実現できない背景がありました。このため、児童の保護者から通学について支援の要望（通学のため就労するにも支障がある。雪道の運転の不安。保護者病気等で送迎ができない場合など）があり平成 19 年 10 月から事業を実施した。 事業化に至った要因は何であると考察しましたか？ タイミング的に保護者から要望があったときに、障害者自立支援法が前年から施行されて地域生活支援事業のその他の事業として事業が認められることになったため。
これまでの取り組み	19 年 10 月から事業開始。市内 3 社のタクシニー会社に移送を委託。移送にかかる経費については保護者負担なしで市が支払うが、添乗する人の経費については保護者が負担。日々の乗車児童の取りまとめや連絡等は保護者会が行い、養護学校とも連絡し協力を得ながら事業を実施している。送迎を行っていることにより、教育委員会サイドでは養護学校入学奨励への効果がある一方で、また児童たちも種教で乗車していくため他の児童との付き合い方を習得する一助となっているようである。

事業の成果指標名	①利用児童数（目標数は設定していない） ②
選択理由	① ②
算定の方法	①日々の乗車児童の集計 ②

区分	単 位	19 年度		20 年度		21 年度		22 年度 目標値
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	
成果指標①	人	14	12	15	14	14	15	15
達成率	%							
成果指標②								
達成率	%							
事業費（合計）	円	1,424,000	1,040,760	4,320,000	4,095,360	3,400,000	2,975,500	3,400,000
内 国 庫 からの支出	円	712,000	395,000	2,160,000	975,324	1,700,000	1,030,000	1,700,000
訳 其他	円	306,000	158,600	1,079,000	463,164	850,000	546,080	850,000
一般財源	円	306,000	487,460	1,080,000	2,656,872	850,000	1,399,420	850,000

事業の評価 ※○をつけて下さい		説明
関与の必要性	①) 高 b) 中 c) 低	障がい児の状態に応じた修学先が選択できる幅が広がり、保護者については子育て支援となっている。
目標の達成状況	①) 順調 b) 普通 c) 順調ではない	在籍生徒であれば制限は設けていないので、個々のニーズにより利用している。
成果の向上の余地	a) 大幅な向上が可能 ②) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない	在籍児童数が年によって異なり、蓄積している児童や毎日通学する児童などでも利用はさまざまであるの測定はむずかしい。
今後の方向性について（事業の計画等）	現状のまま維持	

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのようにして行っていますか？

当てはまるものすべてを○をつけてください。

- a) ホームページ b) 広報誌 c) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
g) イベントの開催 ⑥) その他（学校や教育委員会を通じて）

問 7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) バリアフリー化の実施
b) アンケート調査の実施
c) 専用相談窓口等の設置
- 問 8. へお進みください
※当てはまるものすべてに○をつけてください（複数回答）

施策名 (通称等あれば)	福島県会津若松市 自立と社会参加への支援 ⇒本市で導入している行政評価における施策名とします。
施策の目標	障がい者が、自らの意思で選択、決定した生活を、地域社会へ参加できるよ う支援する。
構成事業名	① 余暇活動支援事業 (通称あれば) ふうらっと⇒余暇活動支援センターの愛称
	2 障がい者支援センター事業 (通称あれば) カムカム⇒障がい者支援センターの 愛称

事業の開始 年度	平成 21 年度 (事業終了予定年度)	年度)
事業の目標	障がい者及び障がい児に対し、各種講習やイベント等の参加の機会を、地域住民や 地元の商店街と協働で提供するとともに、自主活動の支援等を通して更なる地域住 民との交流を促進する。	
事業化に至 る経緯 (関与した 人物などで きるだけ詳 しく)	<p>本事業開始以前には、「身体障がい者生活訓練事業」と「障がい児者社会参加教室 開催事業」の 2 事業を実施していたが、いずれも単発的な事業であり、継続した活 動機会の提供には至っていなかった。</p> <p>一方で、本市障がい者計画策定時に、策定調整委員となっていた授産施設職員よ り、「障がい者には余暇の過ごし方がわからず、それが原因で体調を崩し施設を休ん でしまう人もいる。」との意見が出され、また、実際の支援の中で余暇の過ごし方に 課題を抱える障がい者の問題に直面することがあったことで、市として障がい者の 余暇支援の重要性を確認するとともに、対策を講じる必要を感じるようになった。 このことから上記 2 事業を再編し、障がい者の余暇活動の充実と社会参加を図ると 同時に、地域における障がい者理解を促進するため、特に地域住民等との交流を視 野に入れながら従来のイベント等の実施に加え、交流できる場所を設置するなど内 容を拡充し、本事業を実施するようになった。</p> <p>事業化に至った要因は何であると考察しましたか？</p>	

これまでの 取り組み	<ul style="list-style-type: none"> 年間 30 回程度のイベント、講習等の実施 (例) 花見会、夏まつり、パソコン教室、スポーツ教室、ものづくりなど 交流の場として「余暇活動支援センターふうらっと」の運営 ⇒気軽に暮れること、地域住民とも交流できることを考慮し、まちなかに開所。 土日を含む週 5 日の開所により、障がい者の交流の場や余暇活動に関する相談の 場を確保している。 自主活動の支援 ⇒ふうらっとで出会った障がい者がカラオケやスポーツなど自主活動を行う際のア ドバイス等を行っている。 <p>※地元の商店街の方との協働により、まちなかでイベントを開催したりボランティア を積極的に活用するなどして、地域に開かれた事業運営に努め、障がい者の社会参加 や地域の障がい者理解を促進している。</p>
---------------	---

事業の成果 指標名	①年間延べ利用者 (参加者) 数	②
選択理由	①ニーズ及び実際の利用者数の変化を確 認するため	②
算定の方法	①各種イベントの参加者や、余暇活動支 援センターへの来所者から算定	②

区分	単位	21 年度		22 年度	
		計画	実績	計画	実績
成果指標①					目標値
達成率	%	2,691			3,100 (R23 目標)
成果指標②					
達成率	%				
事業費 (合計)	円	3,000,000			3,000,000
内 国庫からの支出金	円	1,500,000			1,500,000
その他	円	750,000			750,000
一般財源	円	750,000			750,000

指標・事業費の推移

事業の評価 ※〇をつけて下さい	説明
関与の 必要性	a) 高 b) 中 c) 低
目標の 達成状況	a) 順調 b) 普通
	<p>地域資源が乏しいため市が関与しているが、民間での取り 組みにより資源が確保されれば、必ずしも市で実施する事 業ではないと考えるため。</p> <p>定期的な周知により事業が浸透しつつあるが、まだ一部の 障がい者の利用にとどまっているため。</p>

況	c) 順調ではない	知的障がい者や身体障がい者などが、目的地へ不安なく行
成果の 向上の 余地	<ul style="list-style-type: none"> ㊸) 大幅な向上が可能 b) ある程度の向上が可能 c) ほとんどない 	けて、その場で活動できる体制やボランティアの活用等も含めて検討することで、大幅な向上が可能であると考えるため。
今後の 方向性 について (事業 の計画 等)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の周知徹底と利用者のニーズに即した事業の実施により利用者の拡大を図る。 ・ 利用者の社会参加を促進するために、イベント等を通して地域住民との交流を積極的に持つ。 ・ 障がい者の自主活動への支援方案を検討する。 ※具体的な事業計画については、現在検討中です。	

問 6. その事業について、地域住民に向けた周知のための活動をどのように行っていますか？
当てはまるものすべてを選んで○をつけてください。

- ㊸) ホームページ b) 広報誌 ㊹) チラシの印刷 d) テレビ e) 新聞
f) ラジオ
㊺) イベントの開催 h) その他 ()

問 7. その事業について、地域住民の評価を受けたことがありますか？

- はい → a) パブリックコメントの実施 問 8. へお進みください
 b) アンケート調査の実施
 c) 専用相談窓口等の設置
 d) その他 ()
 ※当てはまるものすべてに○をつけてください(複数回答)
- いいえ → e) 実施する予定になっている 問 10. へお進み下さい
 f) 計画中である
 ㊻) 現時点で実施する予定はない
 h) その他 ()

問 8. 上の問 7. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。その結果として得られた地域住民の評価はいかがですか？

- a) 良い評価を得られた 問 9. へお進み下さい
 b) 普通
 c) 良い評価を得られなかった

問 9. その事業が地域住民から問 8. のような評価を受けたのは何が要因だったと思いますか？

問 10. その事業について、これまでにメディアで紹介されたことがありますか？
㊼) はい

時期	媒体名 (TV 番組名, 雑誌名)	放映日, 刊号等
平成 22 年 8 月	NHK おはよう東北	不明
平成 22 年 11 月	はあとふぶくしま (県社会福祉協議会広報誌)	2010 年 11 月号

b) いいえ

問 11. これまでお答えいただいた事業以外に、障害福祉施策に係る事業について、メディアで紹介されたことはありませんか？

- ㊽) はい ⇒ 障がい者支援センターカムカム開所時
 b) いいえ

問 12. 上の問 10. で「はい」とお答えになったところにお尋ねいたします。取り上げられた後で、地域住民以外から反響 (問い合わせ等) はありましたか？

- ㊾) はい
 b) いいえ

問 13. 地域に暮らす障害者の移動を確保する手段の一つとして、コミュニティバス等は有効であると考えられます。地域内でコミュニティバス等の運行は実施されていますか？

- ㊿) はい → a) 運行をはじめすべての業務を自治体で実施している 問 14. へお進みください
 ㊽) 運行は自治体であるが業者が委託して運行を実施している
 c) 民間事業者が主体となって運行し業者に補助金を支出している
 d) 民間事業者がこれまで運行してきたものに補助金を支出している
 e) すべて民間事業者実施している
 b) いいえ → 問 15. へお進みください

問14. コミュニティバス等について、障害者が利用する場合の割引率はどの程度ですか？

手帳の等級	乗車の形態	年齢	利用する距離の制限(〇〇km等)	割引の対象となる乗車券	割引率(〇割引引き)	備考
第1種障害	単独で乗車 介護者と共に	小児	区間内	乗車券	半額	
		大人				
第2種障害	単独で乗車	小児	区間内	乗車券	半額	
		大人				
	介護者と共に	小児	区間内	乗車券	半額	
		大人				

問15. 共生社会に向けた障害者施策について、施策や事業が成功する要因は何だとお考えですか？ ご自由にお答え下さい。

障がい者が安全に安心して暮らしていくためには、障がい福祉分野だけでなく、教育、雇用、余暇の充実や地域住民の理解など様々な要素が必要不可欠であると思われれます。
よって、今後取り組むべき施策、事業についても、地域全体で取り組むべき問題という意識を持ちながら、障がい福祉分野以外の地域資源をうまく絡めていくことが必要であると考えます。